



大阪を代表する里山里海を フィールドにした未来社会のデザイン 共創プレイス・阪南



阪南市



ONE ACTION

👣👣 ~時代の1歩先をゆくまち~

- ・市制施行：平成3年10月1日
(大阪府内で一番新しい市)
- ・大阪で一番南の市
- ・大阪市内まで電車で約40分
- ・関西国際空港から約20分



海と山に囲まれ、豊かな自然が特徴



SDGs推進に向けた取組

「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまち」

SDGs すごろく
(株式会社伊藤園とのコラボ事業)



GOMIBUSTERS
(株式会社伊藤園とのコラボ事業)



三井住友海上保険株式会社による
職員向けSDGs研修会



笑顔のパスポート



SDGs 推進プロデューサー就任
(株式会社F.C.大阪)



SDGs (共創社会) セミナー
(市制施行30周年記念事業)



小学校でSDGs出前講座



海、山、里を体感！
まるごと阪南の魅力発見！SDGsイベント



企業等との連携

協定日	協定先	包括協定
令和2年6月16日	大塚製薬株式会社	○
令和2年8月18日	株式会社伊藤園	○
令和2年8月19日	国立大学法人 和歌山大学	
令和2年10月2日	株式会社アールビーズ	○
令和2年12月15日	永和証券株式会社	
令和2年12月24日	産経新聞箱作販売所	
令和3年2月1日	三井住友海上火災保険株式会社	○
令和3年2月1日	小林製薬株式会社	
令和3年2月19日	学校法人千代田学園 大阪千代田短期大学	○
令和3年3月29日	学校法人村川学園	
令和3年4月9日	日本郵便株式会社	○
令和3年10月19日	学校法人上田学園 上田安子服飾専門学校	○
令和3年10月21日	株式会社モンベル	○
令和3年10月22日	大阪信用金庫	
令和4年3月23日	第一生命保険株式会社	
令和4年3月28日	公益財団法人 関西・大阪二十一世紀協会	
令和4年5月12日	株式会社漁師鮮度/NPO法人大阪湾沿岸域環境創造センター	○
令和4年6月10日	株式会社カープスジャパン	
令和4年8月19日	アデコ株式会社/Modis株式会社/株式会社IRODORI	○

令和4年8月末時点



阪南市の強み（健康）

令和4年度
スポーツ庁「運動・スポーツ習慣化促進事業」

大好評につき
第3回 阪南市民のための特別企画
メディカルフィットネス

My トレーニング 教室

健康スポーツ医があなたに合わせた運動処方箋を発行

コロナ禍に潜む危険

高まる糖尿病・心筋梗塞・認知症のリスク

コロナフレイルとは、コロナウイルス流行下において、人との接触を避けて外出を自粛したことによる健康二次被害（ウイルス感染以外の健康被害）を指します。外出自粛によって運動やコミュニケーションの機会が減少することで、筋力の低下、歩行速度の低下、認知機能の低下などが引き起こされ、糖尿病、心筋梗塞、認知症といった疾患のリスクが増加します。

筋力の低下など 身体的な衰え
人とのつながりが減少 社会的な衰え
認知機能の低下うつ状態 認知・心理的な衰え

⚠️ コロナ禍の健康二次被害（ウイルス感染以外の健康被害）

そこで…
医学のスペシャリスト「関西医科大学健康科学センター」と運動のスペシャリスト「ミズノ」がタッグを組んで、健康増進に特化した運動教室を開催します！

関西医科大学 KANSAI MEDICAL UNIVERSITY × MIZUNO

主催 阪南市
応援サポーター 泉佐野泉南医師会・大塚製薬株式会社・明治安田生命保険相互会社株式会社伊藤園・小林製薬株式会社・コガソフトウェア株式会社



認知症当事者が活躍できる居場所：マスターズカフェ

令和3年度 大阪スマートシティパートナーズフォーラム事業

働く世代の健康づくりを応援します！

AI健康アプリ×ヘルシー弁当×オンライン健康面談 2型糖尿病サポート実証実験プログラム

主催：阪南市
協賛：株式会社リンクアンドコミュニケーション、株式会社はーと&はあとライフサポート、デロイト・トーマツグループ（有限責任監査法人トーマツ）、大阪府

実施期間 2021年10月27日～2022年1月31日（申込期限 10月20日）

対象者 20～65歳の阪南市住民または市内勤務の、2型糖尿病の方（※詳細は裏面の参加条件をご確認ください）

参加費 無料 生活習慣改善アドバイス×28食分の食事×オンライン面談

令和3年度 大阪スマートシティパートナーズフォーラム事業

働く世代の健康づくりを応援します！

第2弾 AI健康アプリによる 運動習慣改善プログラム

主催：阪南市
共催：株式会社リンクアンドコミュニケーション、筑波大学、デロイト・トーマツグループ（有限責任監査法人トーマツ）、大阪府

実施期間 2021年12月13日～2022年3月6日（申込期限 11月30日）

対象者 20～64歳の阪南市住民または市内勤務の方（2021年12月9日時点）

参加費 無料 本プログラムを3ヵ月実施いただいた方には、金券等2,000円分をプレゼント

参加者への謝礼あり！

AI健康アプリの実証実験（大阪スマートシティパートナーズフォーラム事業）

阪南市の強み（環境）

海洋教育の取組

海洋教育パイオニアスクールプログラムによる取組



<アマモ栽培活動>



<ビーチコーミング>



<チリモン探し>



<海苔漉き体験>



<水辺の学校>



<ワカメの養殖体験>



<聞き書き（漁師の方への聞き取り学習）>



<山を活かしてフルボ酸づくり>



阪南市の強み（環境）

海洋教育の成果

全国アマモサミット

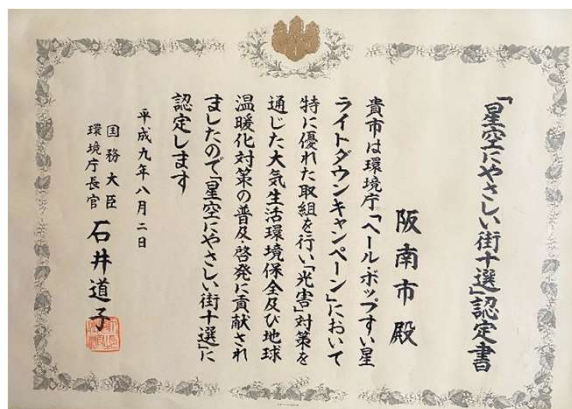
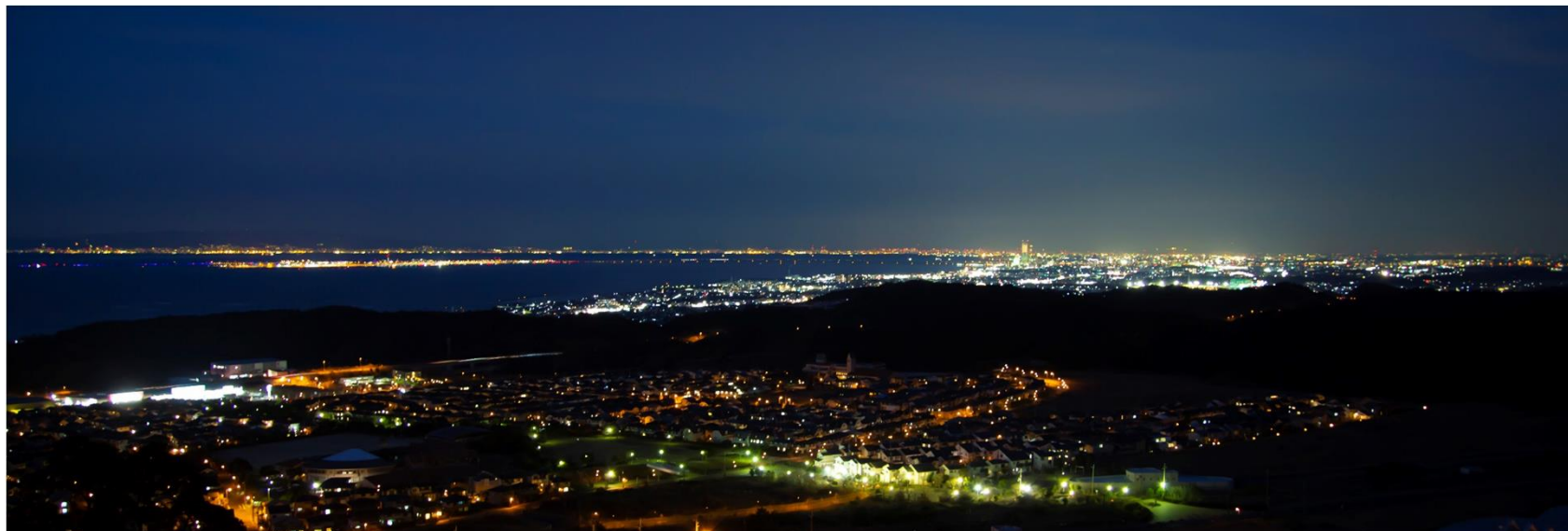
G20大阪サミット・配偶者プログラム

海洋教育副読本



令和3年度までの3年間の
実績を踏まえて作成

阪南市の強み（環境）



平成9年8月2日付け、環境庁より選定

「星空にやさしい街十選」 に認定！

「パール・ポップすい星ライトダウンキャンペーン」において、光害対策を通じた待機生活環境保全及び地球温暖化対策の普及・啓発に努め、「星空にやさしい街 十選」に認定されました。

阪南市の強み（環境）

◆環境関連の宣言

令和元年

GOALS SDGs × 阪南市

はんなんプラスチックごみゼロ宣言

プラスチックは、安価で使いやすいことから、現在、私たちの生活は大きく依存し必要不可欠なものとなっています。その一方、不用意に捨てられたプラスチックの一部が、河川などを通じて海へ流れ込み、海洋の景観を損なうだけでなく、海の生き物が間違えて食べてしまうなど、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、近年、地球規模で問題となっており、細分化されたマイクロプラスチックによる生態系への影響も懸念されています。

阪南市には、尾崎・西鳥取・下柱の3港、びちびちビーチ（箱作海水浴場）があり、大阪湾の自然豊かな恵みを受けてきたことから、これまで市民、事業者、行政が協働して海洋・河川清掃等を積極的に取り組み、良好な生活環境を保持してきましたが、次世代の子ども達に、阪南市の自然溢れる海・河川環境を継承するためには、より一層のプラスチックごみの削減に取り組む必要があります。

阪南市は、SDGs（持続可能な開発目標）先進都市を目指す大阪の一員として、大阪府及び大阪市が宣言した「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のさらなる推進、使い捨てプラスチックの削減やポイ捨ての防止に向け自ら率先して取り組むことをここに宣言します。

令和元年 5月30日
阪南市長 水野 謙二



令和3年

DEVELOPMENT GOALS SDGs × 阪南市



阪南市ゼロカーボンシティ宣言

令和2年10月26日、菅義偉首相は所信表明演説で、国内の温暖化ガスの排出を2050年までに「実質ゼロ」とする方針を表明されました。

阪南市は市街地や住宅地を囲むように、放射状な陸と緑豊かな山林が連続しているため、陸・山を中心とした自然環境に恵まれています。そのような阪南市においても気候変動に対する取組は、私たち一人一人が避けることのできない喫緊の課題と認識しています。

平成30年9月、近畿地方に被害をもたらした台風21号により、南陸本線尾崎駅の駅舎が全壊し、多くの家屋が被害をうける等、阪南市民に甚大な被害をもたらしました。

私たちの世代のライフスタイルによって、子ども達の将来の世代が、今、私たちが経験している豪雨災害等に遭わないよう、私たちは今できることに全力で取り組む必要があります。

以上のことから、阪南市は、市民・事業者等と一体となって、少しでも良い環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに市内の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを表明します。



令和3年2月5日

阪南市長 水野 謙二

阪南市の強み（環境）

◆環境保全等の主な取組

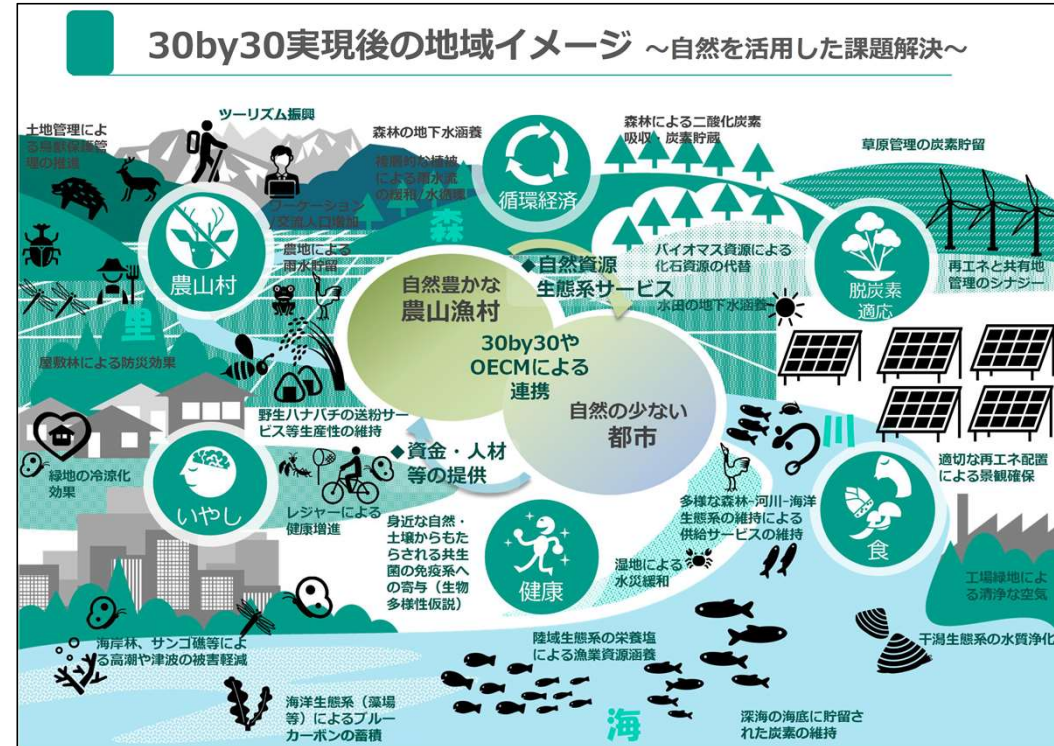
令和3年

【環境省ローカルSDGs(地域循環共生圏)実施地域等に登録】



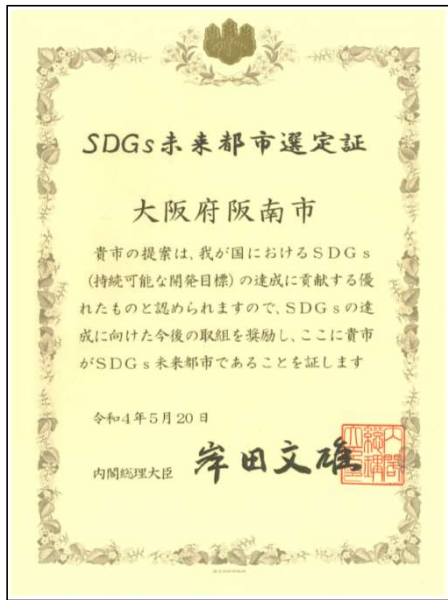
令和4年

【生物多様性のための30by30アライアンスに参画】



阪南市の強み（環境）

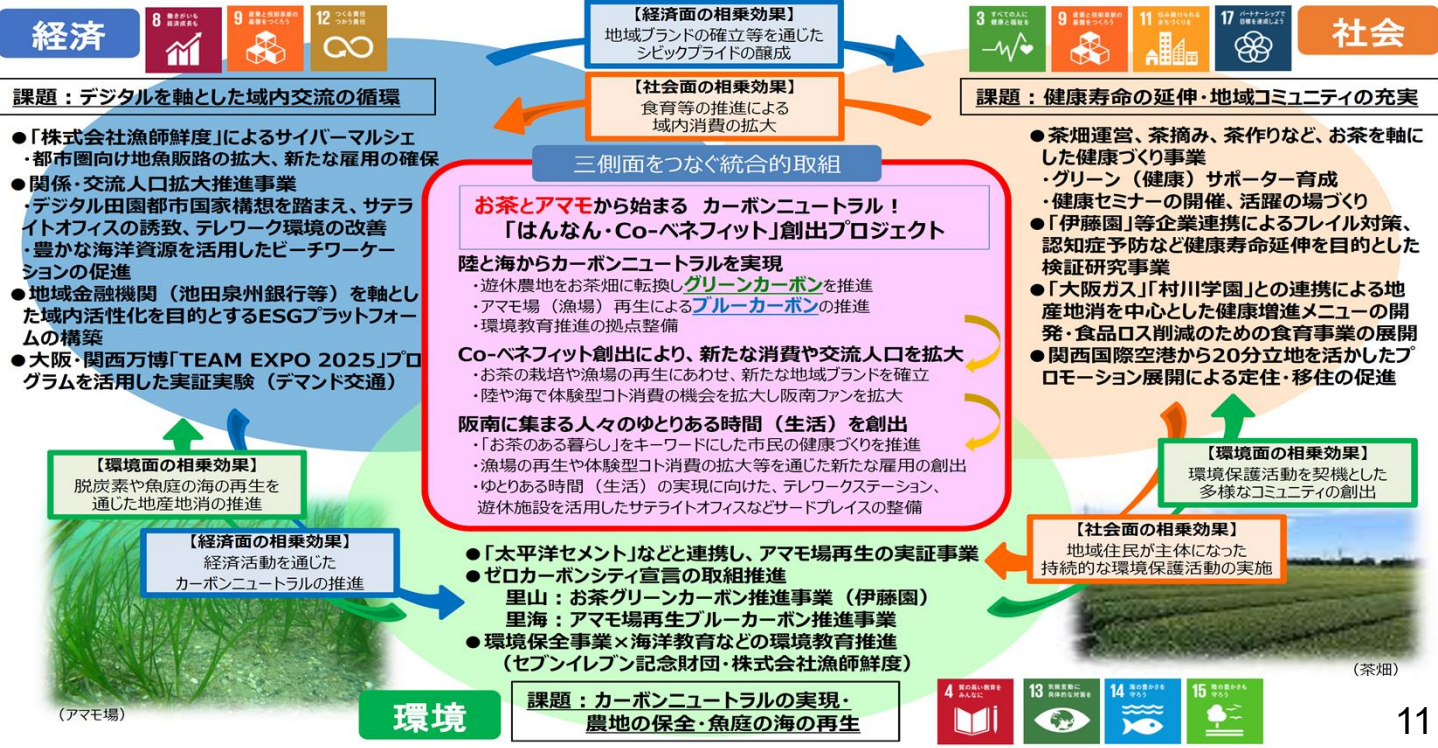
◆SDGs未来都市・自治体モデル事業に選定



2022年度自治体SDGsモデル事業提案概要

事業名：共創による新しい価値の創造 カーボンニュートラルの先にあるCo-ベネフィット型未来都市に向けて 提案者名：大阪府阪南市

取組内容の概要：農空間や海浜空間といった地域資源を活かし、カーボンニュートラルの取組を通じて様々なCo-ベネフィット（恩恵）を創出することで、関係・交流人口を増やし、消費の拡大につなげる。環境にやさしいまちに集まった人々が、健康でウェルビーイング（持続的幸福感）を感じられる取組を推進し、持続可能で好循環な地域づくりの実現を図る。



令和4年5月20日付けで内閣総理大臣より選定

阪南市の強み（環境）

遊休農地をお茶畑に転換し『グリーンカーボン』を推進



植樹祭

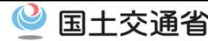


お茶セミナー

阪南市の強み（環境）

アマモ場（漁場）再生による『ブルーカーボン』の推進

ブルーカーボンとは



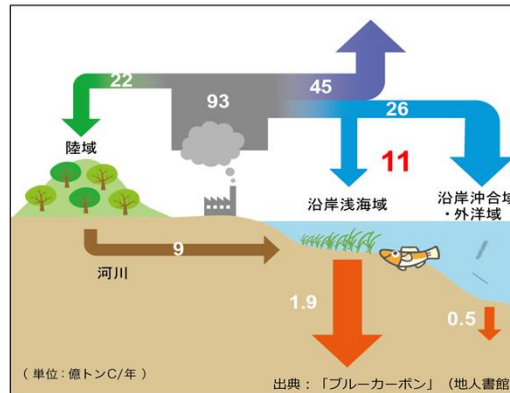
- ◆ 2009年10月に国連環境計画（UNEP）の報告書において、**海洋生態系に取り込まれた（captured）炭素が「ブルーカーボン」と命名**され、吸収源対策の新しい選択肢として提示
- ◆ 四方を海に囲まれた日本にとって、沿岸域の吸収源としてのポテンシャルは大きい。ブルーカーボンの活用にあたっては、その評価方法や技術開発の確立が重要

国連環境計画（UNEP）の報告書「ブルーカーボン」



海表面の0.2%程度にあたる沿岸浅海域では、炭素が1.9億t-C/年（地球全体の80%近く）の速さで海底に貯留

炭素循環のイメージ



排出された二酸化炭素のうち、一部が陸域（22億t-C/年）や海洋（26億t-C/年）に吸収

出典：ジャパンブルーエコノミー技術研究組合資料

アマモ場再生活動の一年

春: アマモの花, アマモ花枝採取, アマモの種

夏: アマモの苗, 花枝の養生

秋: コウイカの卵, アマモ種子選別

冬: アマモ播種（種まき）, アマモ苗づくり

移植アマモ

阪南市の強み（共創のまち）

フィールド



里海



地域活動
の場



里山



プレイヤー

団体



市民



漁業者



企業



TEAM EXPO2025プログラム～共創パートナー～

大阪を代表する里山里海をフィールドにした未来社会のデザイン 共創プレイス・阪南

阪南市では、多様な連携のもとで、里山里海をフィールドにした海洋教育・ブルーカーボンなどを推進するとともに、自然体験や健康増進などの取組を行っており、これらの取組を共創チャレンジとして登録し、更に活動を促進しています。

また、大阪・関西万博会場がある大阪湾で取り組む海洋教育・ブルーカーボンなどの共創の取組が全国や世界へ発信されるとともに、より多くの未来社会へ向けての共創チャレンジが阪南市で展開されていくよう、阪南市が有する里山・里海、それらに関する地域資源などを実証フィールドとして提供することで、環境保全活動などに取り組む企業や団体などのチャレンジを支援しています。

全国で3番目の
自治体として登録



8つの共創チャレンジが活動中



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

チャレンジ名	お茶で世界を変える、伊藤園×阪南プロジェクト
メンバー	株式会社 伊藤園、阪南市
内容	<p>「お茶のある暮らし」プロジェクトとして、阪南市をフィールドにさまざまなパートナーと以下の取組を行い、本プロジェクトの成果を全国・世界に展開できるように発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①茶の栽培・収穫プログラムを実施 ②小中学生への茶に関する食育授業を実施 ③認知症の方（家族含む）・要支援/要介護高齢者向けの「お茶とともに楽しく過ごす」プログラムの開発 ④一般（子ども～親子～成人～高齢）向けお茶セミナープログラムの開発 ⑤「お茶のある暮らし」の強化によるウェルビーイングに及ぼす影響評価研究 ⑥お茶によるうがい習慣によるインフルエンザ、新型コロナ等の罹患率への影響に関する研究 ⑦緑茶の摂取とウェルビーイングと生きがいに関する疫学調査・縦断研究 など



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

チャレンジ名	身近な大阪湾の実現
メンバー	(株) 漁師鮮度、NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター、 阪南市、西鳥取漁業協同組合
内容	<p>森里川海とそのつながりが織りなす、人と自然の共生による生態系サービスの大切さを知り、心も体も豊かにすごせる地域を実現していくために、海と陸の水や栄養循環、大阪湾の豊かさを体感してもらうイベントを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 山から川を通じて里に届けられた水や栄養を得て育つ「お米」、さらに里から川を通じて海に届けられた栄養を得て育つ「海苔」を自らが育て、収穫し、食べる事で、海と陸との栄養の循環とその環境があることの大切さ体感するイベント「海と陸とのつながりを味わおう」を実施します。 ② 海藻が持つCO2や栄養の吸収による海の環境保全効果を知り、大阪湾の豊かさがもたらす温暖化対策を体感してもらうために、ワカメの種付け、収穫およびワカメの料理教室を行うイベント「みんなでワカメを育てよう」を実施します。 ③ 大阪湾の豊かさを体感し、身近な魚を食べる事による環境保全について理解するために、江戸時代の伝統漁法を楽しむ「すだて漁体験」を実施します。 ④ 生き物の成育場であるアマモ場を含めた「浅場」の機能や大切さを知り、持続可能な浅場環境の保全ために一人一人が出来ることを考える機会を持ってもらうために、アマモ場とカキ養殖筏周辺でシュノーケリングによる生き物観察「シュノーケリング教室」を実施します。さらに、自身で水中写真撮影を行い、その思い出を記録として持って帰ってもらう事で、海への関心を高めてもらいます。



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

<p>チャレンジ名</p>	<p>海のゆりかご再生活動！</p>
<p>メンバー</p>	<p>(株) 漁師鮮度、NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター、阪南市、阪南市教育委員会、阪南市立西鳥取小学校、阪南市立舞小学校、阪南市立下荘小学校、阪南市立尾崎小学校、阪南市立上荘小学校、尾崎漁業協同組合、西鳥取漁業協同組合、下荘漁業協同組合、チーム☆ガサ</p>
<p>内容</p>	<p>次世代を担う子供たちが、地域の海を愛し、地域の海を通して大阪湾や全国の海への関心を持ってもらう事で、持続可能な豊かな大阪湾を実現していくために、阪南市の小学校における海洋教育を推進します。また、阪南市だけでなく、全国の他地域の学校とICTを活用した交流の場をつくる事で、それぞれの地域の課題解決に繋がるコミュニティを創出します。</p> <p>また、海の環境保全やブルーカーボンによるCO2削減を推進していくために、自然再生（アマモ場再生）活動を企業と連携し、ブルーエコノミーを推進していきます。</p> <p>また、子供たちの活動をCO2削減量として“見える化”することで、学習意欲向上にもつなげていけると考えています。</p>



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

チャレンジ名	漁港で遊び・学ぶ！
メンバー	(株) 漁師鮮度、NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター、阪南市、阪南市社会福祉協議会
内容	<p>かつて地域コミュニティであった自治会などが衰退し、地域で支え合う仕組みが崩壊しつつある中で、ジェンダーも含めた心や身体、年齢の差別無く、子どもから高齢者・障がい者など様々な立場の人たちが集い楽しめる場所を創造していくことを目指し、子ども食堂などの子供たちのコミュニティの運営、様々な年代の漁港内での釣りサポート、障がい者や更生施設の職業訓練を実施していきます。</p> <p>これらを持続可能な取り組みとして継続させていくためには、「誰かが」ではなく「みんなが」という多様な主体が連携することが重要であり、様々な主体が共創することで多様な立場に対応できる場の創出を目指しています。</p>



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

チャレンジ名	全国・世界へ発信！！マスターズCafe
メンバー	坂口 勇夫（マスターズCafe代表）、岡田 充司（マスターズCafe副代表）、中田 利道、その他構成メンバーあり
内容	<p>認知症の方や介護者がウェイターを担い、カフェ参加者と会話を通じて楽しく交流する生きがい活動の場である「マスターズCafe」の取り組みを支えあいの場づくりのお手本として、全国・世界が展開できるよう発信していく。</p> <p>マスターズCafeは、「毎日特にいくところもなく、図書館に通っている」「家族が認知症になった時、相談場所がわからず困った」「自身の体験を活かして、悩んでいる人の話を聞いてあげたい」などの声や思いから、市立図書館のキッチンのある空きスペースを活かし、住民と各種団体が協働し、『認知症にやさしい図書館』を作り上げていくという大きなテーマを掲げるなかで生まれた取り組みであり、にぎわいのある交流が生まれている。</p>

図書館の市民活動スペースを使用

Cafeの様子

マスターズのみなさん

私たちの共創チャレンジ

全国・世界へ発信！！マスターズCafe

認知症の方や介護者がマスターとなり、カフェ参加者と会話を通じて楽しく交流する、生きがい活動の場である「マスターズ cafe」図書館の市民活動スペースを活用して、2018年9月からスタートし、現在は毎週木曜日と第2・4火曜日に営業しています。

未来への宣言

さまざまな方々の生きがい活動の場を全国・世界中に共感してもらえ、同じような活動が全国・世界中に広がり、『地域共生社会』の実現に繋がりたい。

TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

<p>チャレンジ名</p>	<p>阪南市から世界へ！ 「健康無関心層に響く体力・脳力測定システム」の開発</p>
<p>メンバー</p>	<p>学校法人関西医科大学、コガソフトウェア株式会社、阪南市</p>
<p>内容</p>	<p>我が国の多くの地方自治体では少子高齢化により増え続ける医療費、介護給付費を適正化するために様々な健康事業を行っているが、参加者の多くはすでに健康に関心が高い層で固定化されており、医療費、介護給付費を適正化するために参加させたい健康無関心層が参加していない。そこで、WEBでの登録要件を極力簡易にし、誰でも利用できる体力・脳力測定プログラムを開発し、体力・脳力の実力を本人にフィードバックすることで、健康事業への関心を高め参加者のすそ野拡大をめざす。</p> <p>まずは、実証実験として共創パートナーである阪南市と連携し、阪南市の成人への体力・脳力測定プロジェクトを実施し、普及拡大を図る。</p> <p>また、今回開発する「WEBカメラでの運動機能レベル・体力レベル・認知機能レベルを判定するプログラム」を阪南市での展開を皮切りに行い、その成果を論文化し、多くの自治体や企業に展開できる足掛かりをつくとともに、今回の開発プログラムをベースに「非接触センサーによる身体機能評価システム」へ発展させ、2025年の大阪万博での展示をめざし、全世界へのシステム展開の足掛かりにする。</p>



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

チャレンジ名	新しい官民連携のカタチ・地方創生VI！ 阪南市×Adecco Group 実践型地域課題解決プロジェクト
メンバー	アデコ株式会社、Modis株式会社、株式会社IRODORI、阪南市

内 容

大阪府阪南市とAdecco Groupは、2022年8月19日に包括連携協定を4者で締結し、阪南市が抱える課題を可視化し、行政職員や地域住民の課題解決意識の醸成、デジタルリテラシー向上、チャレンジに寛容な組織文化作りなど、持続的な課題解決に最も重要な環境の構築を目指します。

今までは地域課題の解決は企業や行政といった専門家が行う時代でした。しかし、テクノロジーの進化により誰もが課題解決を担う当事者になれるようになった今、地域で暮らす住民が自ら課題を解決していける仕組みづくりを官民が連携して推進していくことが持続可能な地域づくりの第一歩目につながると考えています。

Adecco Groupと阪南市が連携することで「阪南市で暮らす全ての人々が課題解決人財になること」を推進し、阪南市を中心とした泉州地域にも活動の幅を広げ、広域でナレッジを共有や社会実装を目指す取り組みへの発展も目指します。

modis

TEAM
EXPO
2025

新しい官民連携のカタチ・地方創生VI



阪南市×地方創生VI 2022年より連携スタート！

実践型地域課題解決プロジェクト

地方で起こっているリアルを体感し、課題解決施策を構想するプロジェクト「地方創生VI」。地域の社会課題解決へ挑戦し、課題解決力・ビジョン構築力を育成する「地方創生人財育成」プログラムを研修サービスとして提供しています。



地方創生VI活動紹介動画



TEAM EXPO2025プログラム～共創チャレンジ～

チャレンジ名	泉州美食EXPO
メンバー	大阪調理製菓専門学校、阪南市長、他4市3町、公益財団法人大阪観光局理事長
内容	大阪調理製菓専門学校を拠点に、トップシェフや地元企業などの産業界、各市町や関連団体と産官学3者が連携することで、泉州地域の地元食材を活かし「美食」を観光資源として地域活性を行う。



大阪・関西万博関連イベントで共創チャレンジの取組を発信

自治体 E X P O フォーラム
(2021.10.11)



HANAZONO EXPO
(2022.11.5~6)



阪南市SDG未来都市・自治体SDGs
モデル事業・看板商品創出事業
共創フォーラム
(2022.11.7)

2022年 11月7日(月) 10:00~12:10
会場：(学)村川学園 大阪調理製菓専門学校 ecclleUMEDA
大阪府東淀川区1-1-1 大阪調理製菓専門学校1号館1F(学)村川学園 大阪調理製菓専門学校7号館1F

阪南市SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業・看板商品創出事業
共創フォーラム
～共創による新しい価値の創造 カarbonニュートラルの先にあるCO₂ペネフィット型未来都市に向けて～

阪南市が取り組む先進的な取り組みの一つである「マモを中心としたブルーカーボン」を推進するに際しては、グリーンカーボン推進することによるカーボンニュートラルから始まる共同プロジェクト「人と自然が共生・共創するCO₂ペネフィット型未来都市の実現」が、両内閣から2022年度「SDG未来都市」に選定されるとともに、特に先進的な取り組みである「自治体SDGsモデル事業」にも認定されています。さらに、「地産地消の観光資源を活用した地域の発展を推進する取組」に認定、両内閣は「共創による新しい価値の創造」の観点から「CO₂ペネフィット型未来都市」に採用して、両内閣共同推進で進められ、5年後の夏に大阪万博で発表される予定です。

本フォーラムでは、両内閣の発表を踏まえた新たなSDG「観光スタイル」が期待される取組の取組について紹介し、夢洲緑地協会の「村川学園 大阪調理製菓専門学校」が学生がブルーカーボン、グリーンカーボンのCO₂ペネフィット型未来都市の取組を推進している「SDG未来都市」を公表いたします。

講演者：
第1部 プレゼンテーション 10:00-11:00
第2部 共創ディスカッション・共創ディスカッション 11:00-11:45
第3部 学生制作「SDG未来都市」発表 11:45-12:10

第1部 プレゼンテーション 10:00-11:00
第2部 共創ディスカッション・共創ディスカッション 11:00-11:45
第3部 学生制作「SDG未来都市」発表 11:45-12:10

講演者：
第1部 プレゼンテーション 10:00-11:00
第2部 共創ディスカッション・共創ディスカッション 11:00-11:45
第3部 学生制作「SDG未来都市」発表 11:45-12:10

講演者：
第1部 プレゼンテーション 10:00-11:00
第2部 共創ディスカッション・共創ディスカッション 11:00-11:45
第3部 学生制作「SDG未来都市」発表 11:45-12:10

海の万博に向けて
クルージング実証事業
(2022.11.22)

2022 11.22 TUE 10:00-16:30 南港発

主催 (一社) 夢洲新産業・都市創造機構
後援 (一社) 関西経済同友会

“海の万博”に向けて
クルージング実証事業
@大阪湾

講演者：
泉佐野市長 千代松 大輔
阪南市市長 水野 謙二
岸和田市長 永野 耕平
徳島県副知事 藤野 美江

大阪・関西万博は、会場を四方を海に囲まれた初の国際博覧会です。 “海の万博”に向けて、万博会場の夢洲緑地協会の協力を得ながら、夢洲への海上アクセスや、来場者や観光客が訪れる港へ誘導する遊覧船の海上ルートの実証、泉州から和歌山にかけての美しい大阪湾を万博前から観光ルートとして実証するために、大阪湾に面した自治体と連携しながら開催します。

“海の万博”に向けて、大阪湾における海を生きつた観光資源、海を生きつた地域活性化等の実証事業が、大阪湾以外の海や海に面した自治体の地産地消にもつながります。

9:45 南港集合会
10:00 出発
10:30 夢洲周回航行
11:00 夢洲コンチネンター前
11:30 泉佐野港(上陸)
12:00 泉佐野港(上陸)
12:30 泉佐野港集合
13:30 泉佐野港集合
14:00 泉佐野港集合
15:40 泉佐野港集合
16:30 解散

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構
大阪府東淀川区3-4-5 毎日新聞ビル8階 TEL:06-6136-8803
E-mail: info@yumeshimakou.com
事務局：株式会社健康都市デザイン研究所 (株) https://yumeshimakou.com/ (株) https://www.kentokohashi.com/

JCI EXPO 2022 inKINKI
(2022.7.3)



JFA公式戦の場外イベント
(2022.11.20)



今後の展開と企業等への期待

阪南市

- 共創パートナー：阪南市をフィールドに共創チャレンジを創出・支援
共創の取組を全国・世界へ展開できるように情報発信 等
- 共創チャレンジ：企業や団体等と共創チャレンジの取組を展開

共創を希望する相手

- ◆ 里山里海をフィールドに活用する環境保全活動に取り組む企業や団体
- ◆ 里山里海をフィールドに活用する自然体験やスポーツなどの健康増進に取り組む企業や団体
- ◆ フレイル予防や認知症予防、高齢者の健康増進などの医療・健康分野の研究に取り組む企業や団体 など

▽身近な里山里海を大切にできる環境にやさしく、健幸なまちの実現
▽SDGs達成の貢献と、大阪・関西万博のテーマの実現